

# 岡田宮

(宝永4年) 1707年

貝原益軒書

第42号

平成18年11月吉日

発行 岡田宮社務所

北九州市八幡西区岡田町1番1号

郵便番号 806-0063

電話 (093) 621-1898

FAX (093) 621-5330



私たちにとって「神さまとはどういう存在なのだろうか？」と考えたことはないでしょうか。

近くの神社にお参りすると、由緒書があつて神社の歴史が記されています。それを読むと神社によつてご祭神が違うことに気付くはずです。例えば、神話に登場する神さまであったり、歴史上の人物であったり、郷土の偉人であったりと……また、山や岩などの自然物に神々のお働きを感じとり、それを崇めている場合もあります。

ビルの屋上や大都会のビルの谷間の小さな祠ほら。そして何よりも家庭では神棚をおまつりして、家庭の中に神々の存在を身近に感じて生活しています。神まつりとは、祖先の恩に感謝し、そして日々「生かされている」ことへの感謝を捧げる祈りであり、日常生活の中に人が生活する上での道徳や、礼儀礼節、畏敬と感謝の心をも育む祖先の知恵でもあります。日本人の暮らしの中に生き続けている神棚まつりという伝統文化を、日本人の総氏神と称される神宮大麻と、地域の守護神である氏神さまの奉斎を通じて、守り伝えて行きたいものです。

## うじがな 氏神さまをおまつりする

日本には八百万の神々といわれる程にたくさんの神さまが全国の神社でおまつりされています。ゆたかな自然の中に神々のお働きを感じ、四季を通じて感謝と祈りを捧げてまいりました。

そういった神々をおまつりする神社を日本人は親しみを込めて「氏神さま」「鎮守さま」などと呼んで地域の守り神として、あるいは一族の守護神としておまつりしてきました。

氏神さまは豊かな木々に覆われ、今日においても心のオアシスとして地域の憩いの場となっています。

# 第12回 岡田神社書道展



●会期  
平成18年7月28日(土)  
7月29日(日)

●表彰式  
平成18年7月29日(土)

●総出品点数 七一〇点

於 岡田宮本殿

- 岡田宮賞**
- 小2 福岡 瑚都
  - 小3 古橋 章子
  - 小4 櫻井 永祥
  - 小5 松浦 功持
  - 小6 中村 航大
  - 中1 茂司 卓治
  - 中2 南 有紀
  - 中3 今西 陽香
- 総代会賞**
- 小1 古橋 郁子
  - 小2 高倉優希乃
  - 小3 井口 睡
  - 小4 茂司垂梨紗
  - 小5 勇 大地
  - 小6 砂田 紫帆
  - 中1 勇 佑多
  - 中3 黄髮あゆみ



- 特選**
- 幼年 大淵 綺奈
  - 小1 有松 希恵
  - 小1 櫻井 里美
  - 小1 井上 優実
  - 小2 兵頭 賢明
  - 小2 佐野 綾芽
  - 小2 皇甫 胡
  - 小2 米丸 友章
  - 小2 久野紗代子
  - 小2 山下 滂
  - 小2 豊岡玲那人
  - 小3 奥田 風音
  - 小3 豊島 直弥
  - 小3 佐々木七星
  - 小3 田中 瑛梨
  - 小3 青木 佳穂
  - 小3 松浦 良哉
  - 小3 御手洗雄斗
  - 小3 瀧口菜々美
  - 小3 江口 優花
- 小3**
- 益本 勝利
  - 矢野志帆理
  - 古賀 尚人
  - 松田 瑞季
  - 岩佐 真奈
  - 小4 宮川 望夏
  - 讚井 直之
  - 吉田 佳子
  - 小川 美緑
  - 大庭ほのか
  - 赤宗みゆき
  - 山本奈央子
  - 原田かおり
  - 甲斐 瑞希
  - 黒木 葵衣
  - 末吉 優奈
  - 森田 美優
  - 高山浩太郎
  - 黄染 綾子
  - 佐野菜々弥
  - 益本 大地
- 小5**
- 丹後 美幸
  - 久野香菜子
  - 大原ちなみ
  - 春名 雄太
  - 安西 萌木
  - 安西 朱紀穂
  - 矢野夕希奈
  - 平岩夕希奈
  - 豊島 将太
  - 天野真佑里
  - 久間あきほ
  - 石田 ゆり
  - 安藤 佳織
  - 三谷 結香
  - 古川 翼
  - 御手洗昂太
  - 讚井 詩織
  - 能美忠里奈
  - 太田 琴菜
  - 上野 航
  - 藤田 夏美
  - 筒井 香歩



## 郷土地名考

42

皇后崎 (こうがさき)

かつて洞海湾に突き出していた岬で、割子川河口部の右岸に位置していた。古く湊として機能し、神功皇后が洞海を船で通った時、「しはらくと、まり給ひし」ところとの伝承がある(統風土記)。

近くには王屋敷という字名も残り、これも皇后の伝承に関連する地名という(「地理全誌」など)。  
寛文中(一六六一・七三)福岡藩が黒崎湊の整備を計画した際、すでに当地の地先は干潟(穴生潟)となっていたが、幕府には新湊の構築ではなく、皇后崎湊の再興という名目で届出がなされた(新訂黒田家譜・北九州市史)。

元禄年中(一六八八・一七〇四)には当地から金山川河口部まで潮開いの上手を築いて穴生潟が干拓されるなど周辺の開田が進み、明治初期には熊手村と陣原村との境界にある小山がかつての当岬とされていた(地理全誌)。



### 神社 なぜ問答

(その42)



#### 「おみくじ」

について

教えて下さい。

神社に参拝した際に「おみくじ」を引き、運勢などを占われた方も多いかと思えます。

一般的に「おみくじ」は、個人の運勢や吉凶を占うために用いられているわけですが、種類もいろいろとあり、神社ごとに工夫も窺うことができます。その内容には、大吉・吉・中吉・小吉・末吉・凶という吉凶判断、金運や恋愛、失(う)せ物、旅行、待ち人、健康など生活全般にわたる記述を見るこ

とができます。また、生活の指針となる和歌などを載せているものもあります。

そもそも占いは、物事の始めにあたって、まず御神慮を仰ぎ、これに基づいて懸命に事を遂行しようとする、ある種の信仰の表れともいえます。例えば、小正月などにその年の作柄や天候を占う粥占神事(かゆうらしんじ)や、神社の祭事に奉仕する、頭屋(とうや)などの神役を選ぶ際に御神慮に適う者が選ばれるよう「くじ」を引いて決めることなど、古くから続けられてきました。「おみくじ」もこうした占いの一つといえます。

「おみくじ」は単に吉凶判断を目的として引くのではなく、その内容を今後の生活指針としていくことが何より大切なことといえます。また、持ち帰っても問題はなく、



引いた「おみくじ」を充分に読み返し、自分自身の行動に照らし合わせてみたいものです。



#### 編集部より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。神社本庁教学研究部の協力でお答えします。

ご質問は紙面の都合上、基礎的な質問に限らせていただきます。質問者氏名等は掲載いたしませんがお名前、ご連絡先は忘れずにお願ひします。

### 平成十九年の厄年

(年齢は数え年)

厄年(男)	厄年(女)
二十四才 前厄	十八才 前厄
二十五才 大厄	十九才 大厄
二十六才 後厄	二十才 後厄
四十一才 前厄	三十二才 前厄
四十二才 大厄	三十三才 大厄
四十三才 後厄	三十四才 後厄
六十才 前厄	三十六才 前厄
六十一才 大厄	三十七才 大厄
六十二才 後厄	三十八才 後厄

昭和五十九年生	平成元年生
五十八年生	六十三年生
五十七年生	五十九年生
四十二年生	五十年生
四十一年生	四十九年生
四十年生	四十七年生
二十三年生	四十六年生
二十二年生	四十五年生
二十一年生	

◆厄年大祭 二月節分日

# 年末年始の行事案内

## ●大祓式

十二月三十一日

## ●どんど焼祭

一月十四日(日)

大祓いとは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身をなで息を三度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までに町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

## ●歳旦祭

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願ひする神事。

午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

## ●開運福引き

一月一日〜三日

一枚五百円でハズレなし。

一等はカラーTV、羽根ぶとんなどが当ります。新年の運ためしにどうぞ。

## ●特別祈願祭

一月一日〜七日



新しい年を迎え、家内安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。

## ●成人奉告祭

一月八日

新成人のお祓いをします。

## 平成十九年度 算賀の年祝

還暦	六十一才	(年齢は数え年)
古稀	七十才	昭和二十二年生
喜寿	七十七才	昭和十三年生
傘寿	八十才	昭和六年生
米寿	八十八才	昭和三年生
卒寿	九十才	大正九年生
白寿	九十九才	大正七年生
		明治四十二年生

## 健康長寿のお守り

お祓いを受けた方に差し上げております。



## 有川写真館

八幡西区熊手2丁目1番6号  
0120-62-2080

## 岡田宮スタジオ(境内)

0120-620-753

## 神社挙式プラン

(挙式料・衣装・写真1枚込み)

¥ 98,250~

## 宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

## レンタルお出かけ衣装

1着 ¥7,000~ (お子様に限りです)

## 撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥21,000
四切	3ポーズ	3枚	……	¥27,000